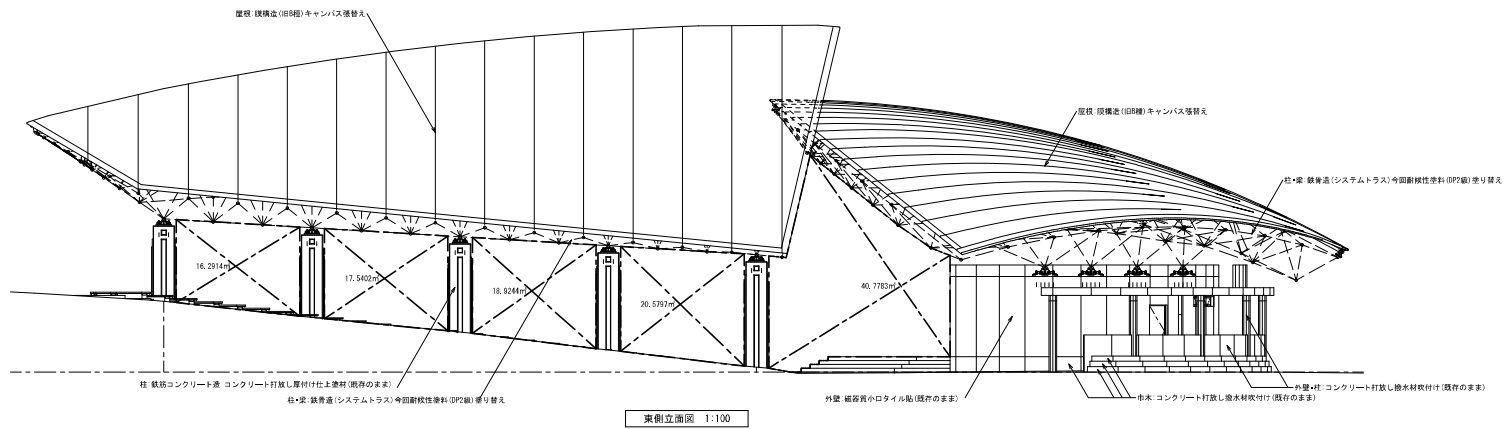


南側立面図 1:100 [高い開放性を有する構造の建築物)常時開放されている開口部の面積:120,813㎡ (消防署設備)有効開口面積:28.15 × 3.378 = 95,097㎡

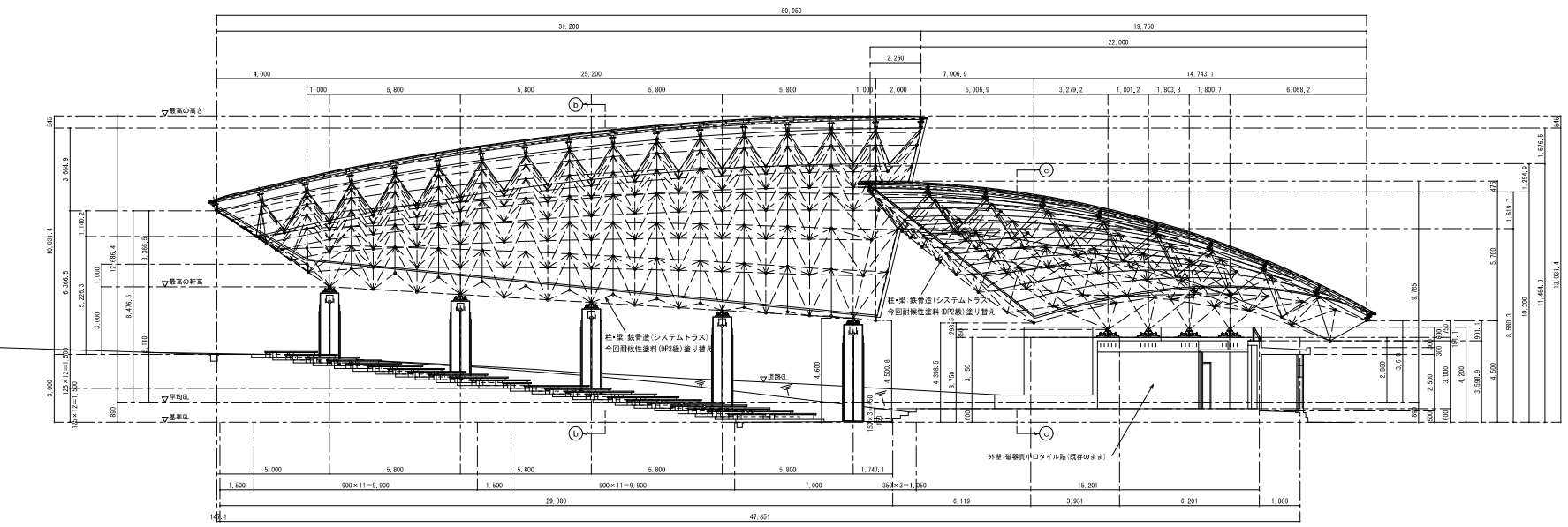
■常時開放されている開口部の面積集計表(㎡)		
西面	立面図より	38,8027
		20,0657
		18,5590
		17,3908
	(小計)	16,4754
南面	立面図より	(112,3226)
	(小計)	128,8133
東面	立面図より	128,8133
		16,2914
		17,5402
		18,9244
	20,5797	
	40,7783	
	(小計)	114,1140
合計	112,3226 + 128,8133 + 114,1140	= 366,2509



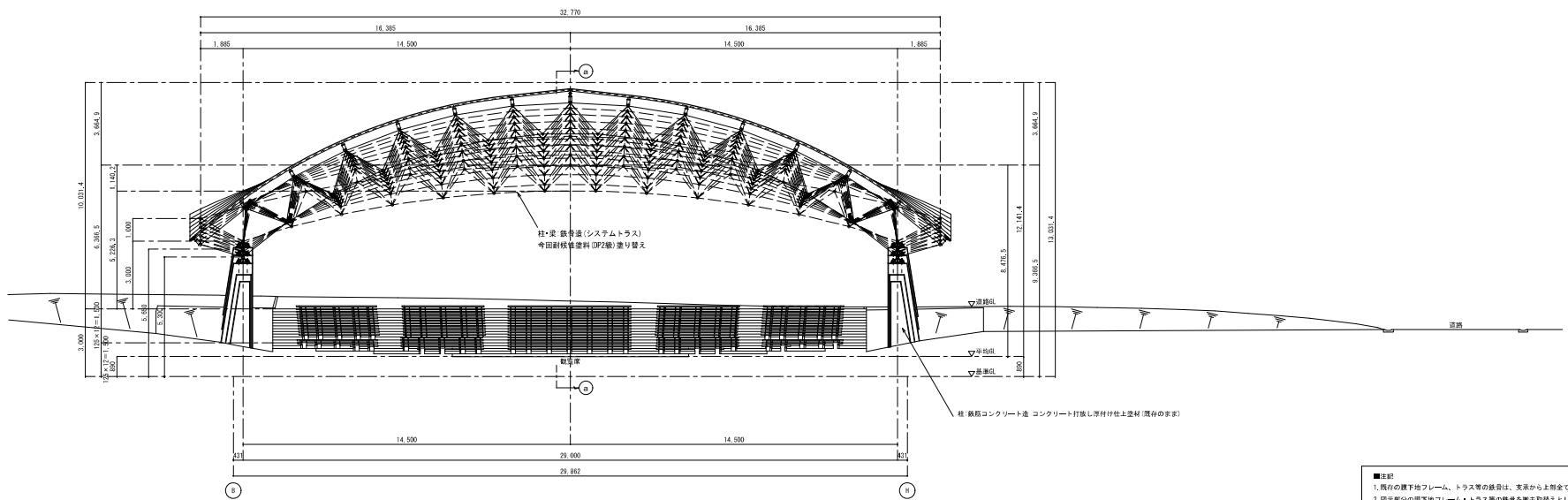
東側立面図 1:100

■注記
 1. 既存の地下フレーム、トラス等の設備は、支保から上部受てを撤去の 塗り替えとする。
 2. 既存部分の地下フレーム・トラス等の鉄骨を除去物替えとし、指定の産量を新張りとする。
 3. 既存の鉄材は除去のうえ新設張替えとする。

特記事項	北九州市建築都市局建築部施設建築課	図	規	計	工	工事名	響灘緑地屋上ステージ屋根大規模改修工事	原簿	H23(11)	作成年月	平成23年8月
	設計事務所	森脇建法■建築設計事務所	代表	森脇 建法	一級建築士登録第191622号	図面名	観覧席・ステージ 立面図-2	原簿	A1版:100,1:10 A3版:1200,1:20	図面番号	A013/038



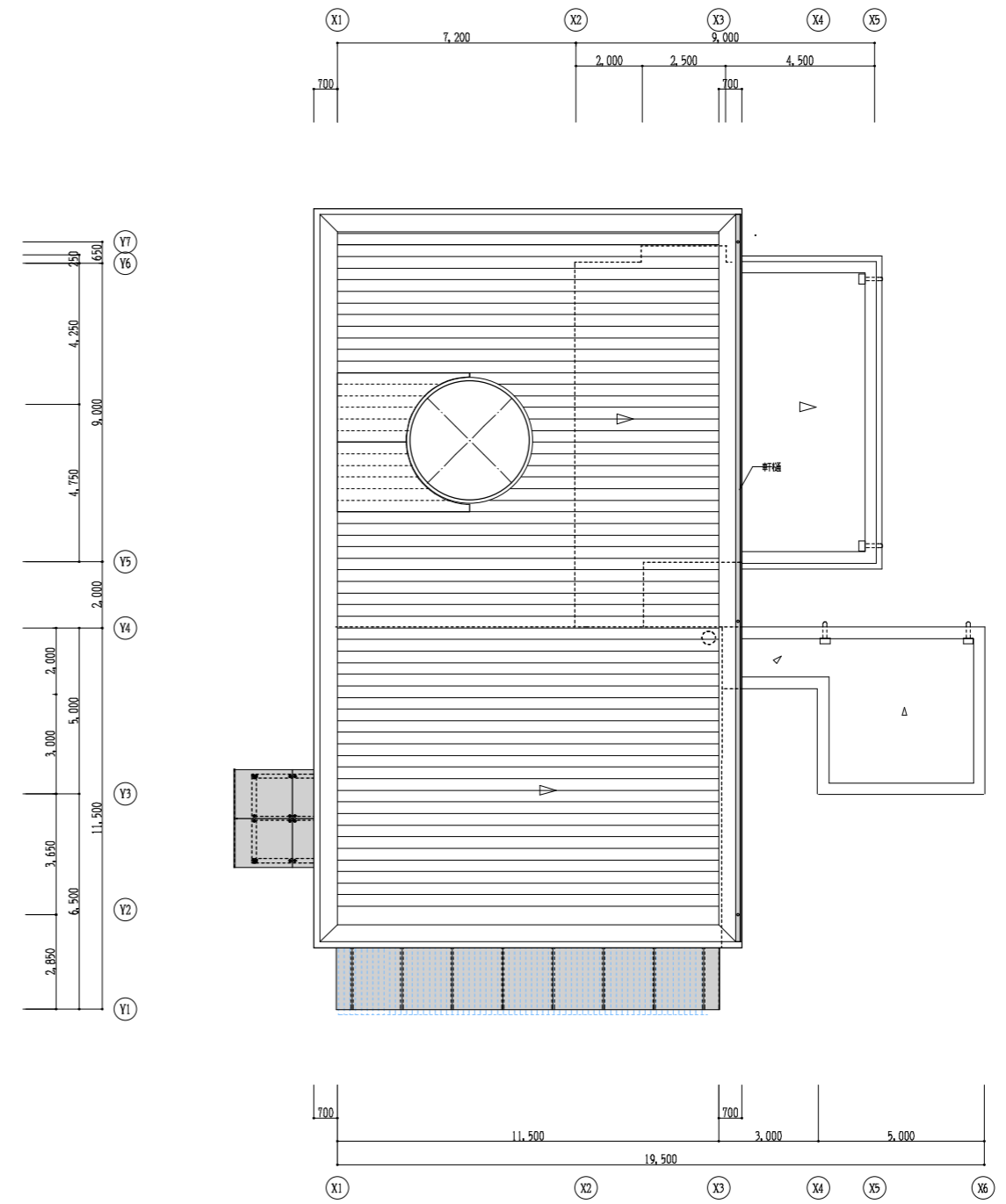
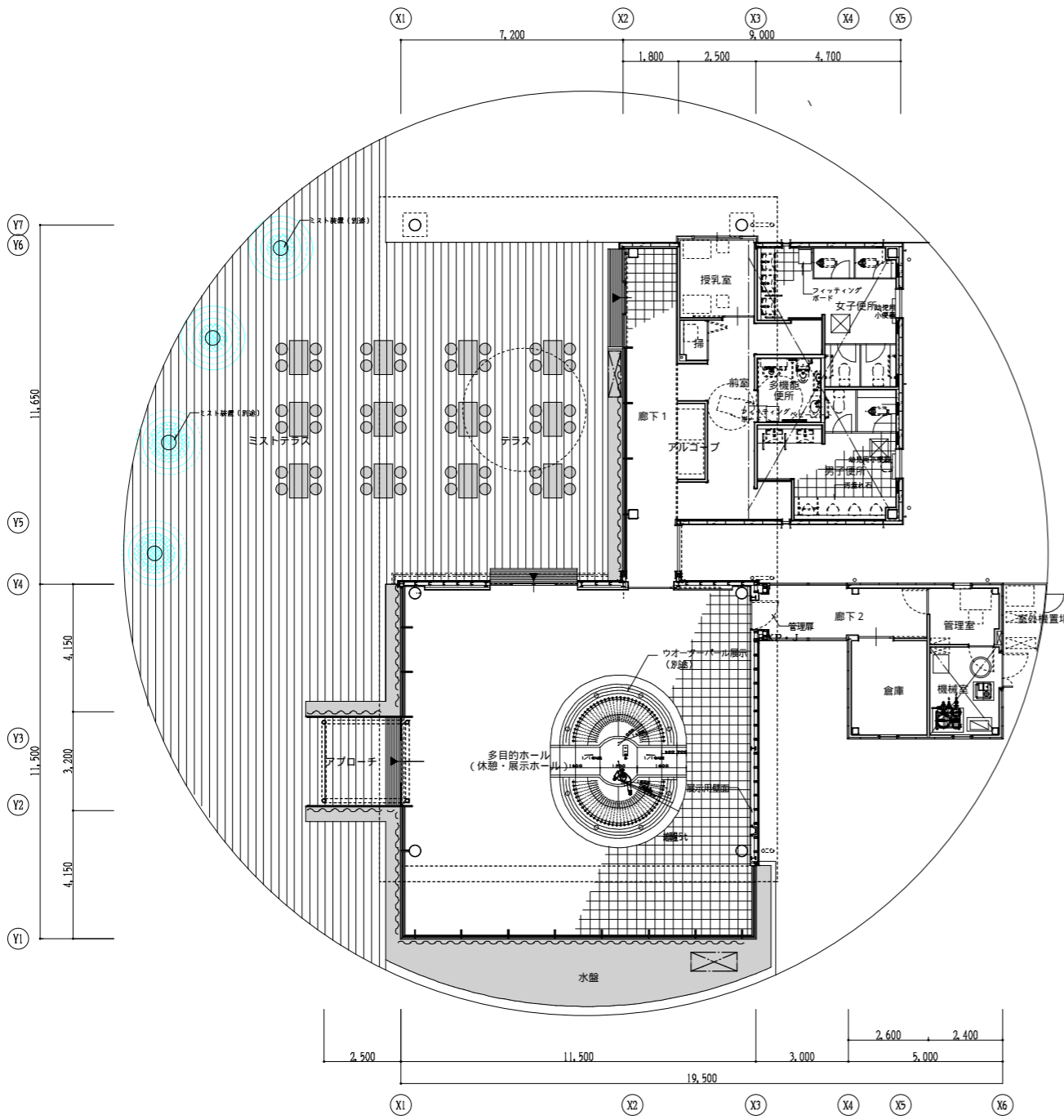
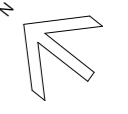
(a)~(e) 断面図 1:100



(b)~(d) 断面図 1:100

- 注記
1. 図の地下フレーム、トラス等の鉄骨は、支保から上物まで塗料を塗り替える。
 2. 図中部分の地下フレーム・トラス等の鉄骨を撤去取替とし、指定の塗料を新規塗りとする。
 3. 既存の鋼材は塗料の塗り剥離後替えるとする。

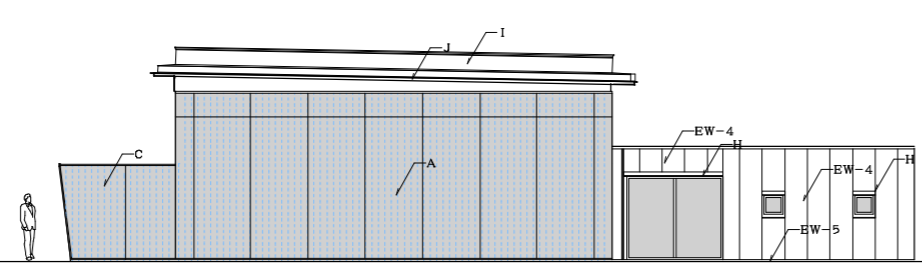
特記事項	北九州市建築都市局建築部施設建築課	建築	原	保	修	保	修	保	修	工事名	警備緑地屋外ステージ屋根大規模改修工事	年度	H23(11)	作成年月	平成23年5月
	設計事務所	森脇建法	代表	森脇	建法	一級建築士登録第191622号				図面名	観覧席・ステージ 断面図-1	縮尺	A1図: 1/100, 1/10 A2図: 1/200, 1/20	図章番号	A014/038



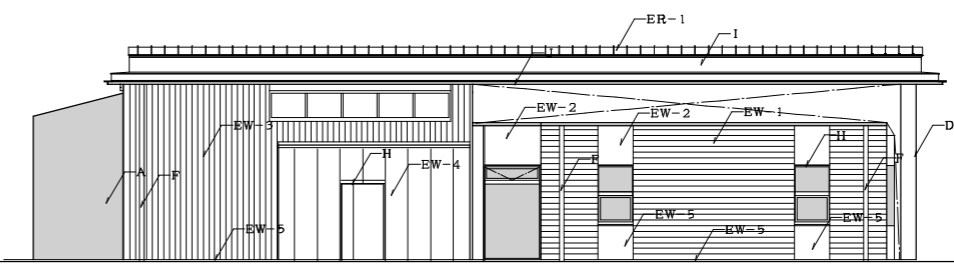
特記事項	

北九州市建築都市局 建築部建築課	課長 原 啓	係長 原 啓	担当 浅田 典生	工事名 響灘緑地休憩所整備工事	工事年度 H22('10)	作成年月 平成23年2月
設計事務所 株式会社 洋建築計画事務所	代表取締役 浅田 典生	1級建築士登録第140034号		図面名 平面図・屋根伏図	縮尺 A1-1: 100 A3-1: 200	図面番号 A-09

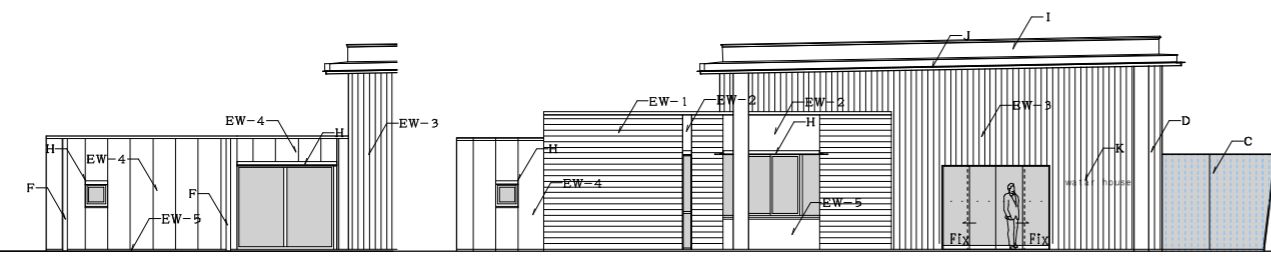
変更図



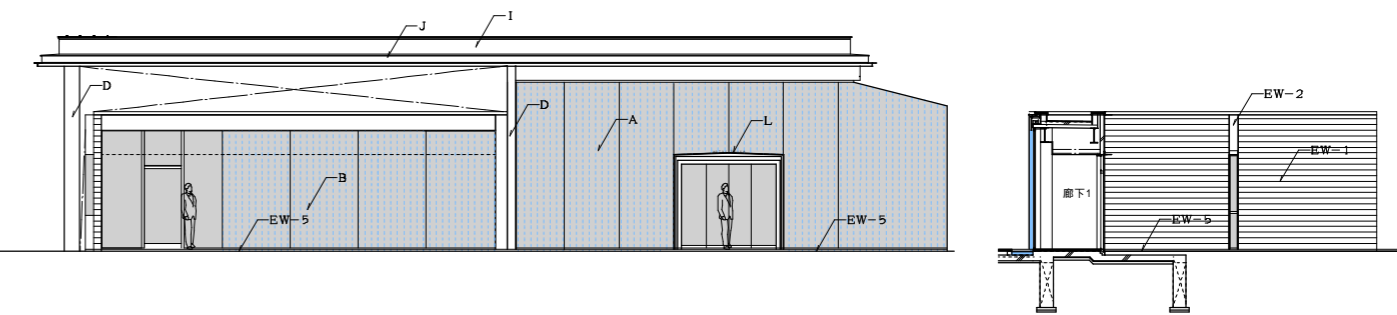
南面



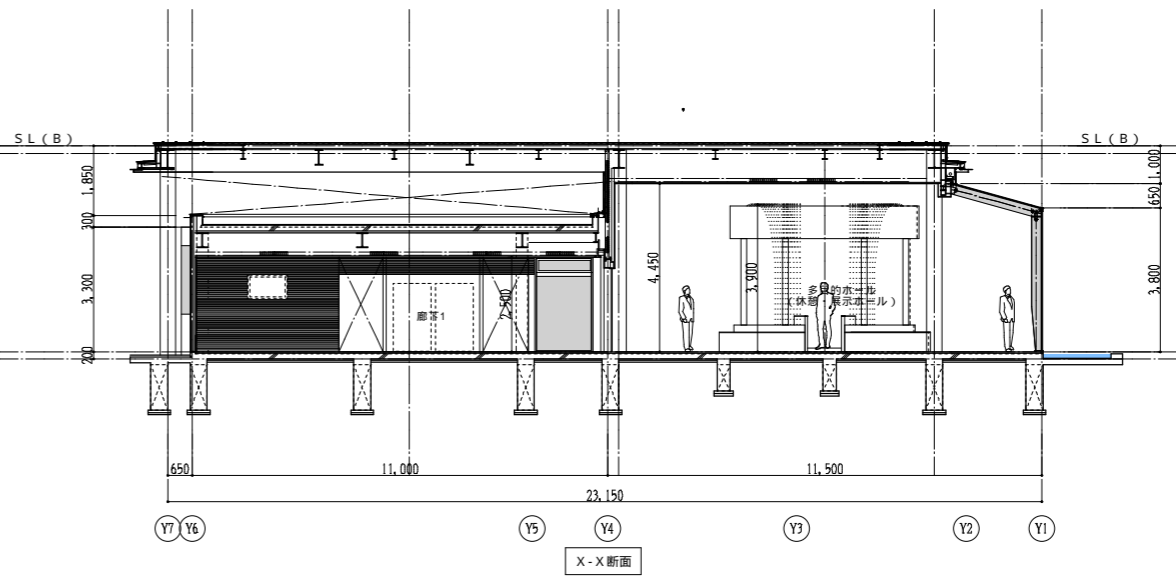
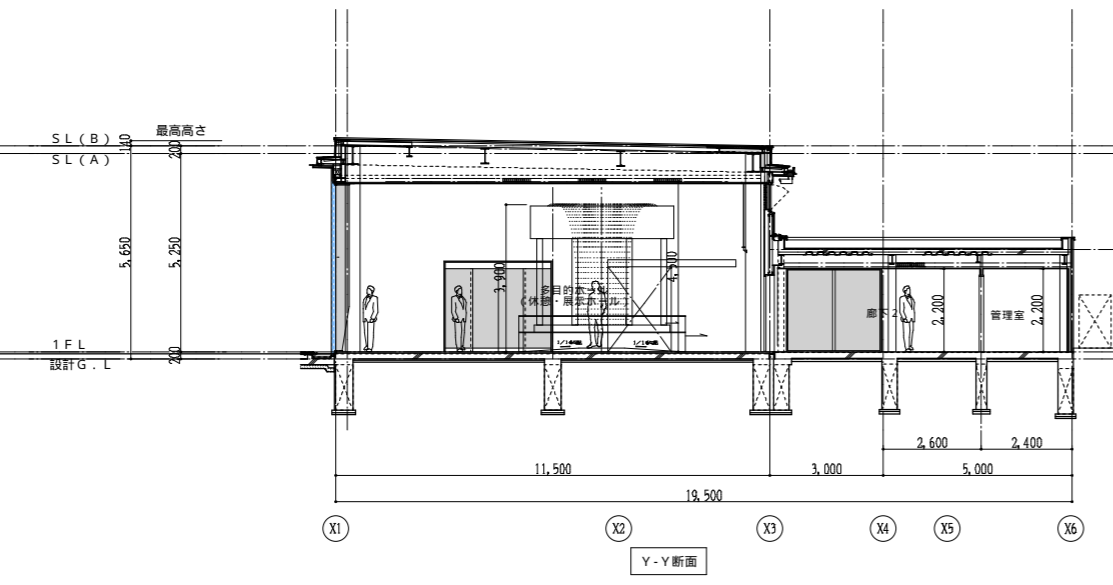
東面



北面



西面



凡例	
EW-1	ALC板 $t=100$ にて貼(スライド工法) 下地 レンガタイル貼
EW-2	ALC板 $t=100$ にて貼(スライド工法) 下地特殊モルタル塗の上 ASP
EW-3	木製板貼 珪藻土 $t=12$
EW-4	中空押出し成型セメント板 $t=60$ にて貼の上 ASP
EW-5	コンクリート化粧打放し 半透明カラー仕上げ撥水材
ER-1	ふっ素樹脂塗装鋼板 $t=0.4$ 瓦葺き ゴムアス防水シート $t=1.2$ (片面粘着タイプ)
Ⓐ	ガラスカーテンウォールA
Ⓑ	ガラスカーテンウォールB
Ⓒ	アプローチガラスカーテンウォール
Ⓓ	鉄部(亜鉛メッキ) DP
Ⓔ	塗木: アルミ塗木(既製品)
Ⓕ	庇
Ⓖ	小庇(下地鉄骨垂れ墨キの上DP)
Ⓗ	カラーガルバリウム鋼板 $t=0.5$
Ⓙ	化粧見切: アルミPL-3, 0加工(シルバー)
Ⓚ	能名表示A 1800*200
Ⓛ	能名表示B 900*100

変更図